

山佐交流センターだより

2020年（令和2年）10月発行号

発行日 令和2年10月20日

発行 山佐交流センター TEL(FAX) 35-0129

9月末の上山佐人口＝349人（対前月比：±0人、対前年同月比△19人）

上山佐をみんなで
元気にしていこう！
新型コロナに
気をつけてね！



上山佐のイメージキャラクター
「てんばこん」

旧上山佐小学校跡で展示会を開催します

11月1日(日)から3日(火)までの間、旧上山佐小学校跡の1階で展示会を開催します。地域の皆さんや、山佐小学校児童の作品などを展示します。現時点では美術品、木工、陶芸、竹細工、手芸、生花などの出品申し込みを受け付けています。



（会場は旧上山佐小学校校舎です）

また、今後交流センターをそこに移転する計画であることから、将来の交流

センターとして建物や施設もご覧いただきたいと思っています。開館時刻など展示会に関する詳しい内容は、近日中に新聞折込のチラシでお知らせすることにしていきます。多数ご来場いただきますようお願いいたします。



天馬山で鬼滅の刃コスプレ、しませんか？

今大人気のアニメ「鬼滅の刃（きめつのやいば）」、主人公の炭治郎（たんじろう）が岩を斬るシーンがありますが、Yamasa Club（代表：岡田秀明さん、以下「ヤマサクラブ」と表記）から、炭治郎のコスプレ衣装（かつら、刀なども含む）を寄贈いただきました。



寄贈いただきました。衣装は大人用と子ども用（身長150cm用）があり、貸し出し料は一回100円、平日の朝9時から午後3時30分まで、交流センターでコミュニティ再生会議の事業として取り扱っています。地元の皆さんはもとより、地域外の方のご利用も歓迎していますので、知り合いの方等にもピーアールしていただくようお願いいたします。

ヤマサクラブが毎年開催している「山奥のたのしい課外授業」、この活動がJAしまねから「令和2年度地域貢献・地域活性化団体活動表彰」の対象事業に選定されました。表彰式は来月行われますが、副賞も贈呈されることから、「地域の方々に応援いただいたおかげで受賞することができたので、お礼の意味を込めて何かを地域に還元したいと考え、地域の名所天馬山のピーアールができる物としてコスプレ衣装を贈ることにしました。」とのコメントを添えて

シリーズ「昔の写真から」～天馬山公園整備～

竹下総理時代、「ふるさと創生事業」として全国の市町村に1億円が交付されました。広瀬町ではその一部の2,000万円が各公民館単位に再配分され、各地区での地域づくりに資する事業に充てられました。当地区ではその推進団体として「上山佐地区地域づくり推進協議会」（会長：仙田芳弘さん）が結成され、平成3～4年度にかけて天馬山公園整備事業が行われました。今回掲載した「昔の写真」は、山頂の東屋建設作業(平成4年10月)



と天馬山公園整備完成式典～登山道開通式（同11月）の様子です。整備から30年近く経ちましたが、ここ数年の山城ブームにあやかっか、天馬山に登られる登山客は目に見えて多くなりました。それに加えて今月号の別の記事で紹介したように、アニメ鬼滅の刃ブームで天馬山は一層注目を集めるものと思われます。

登山客の増加と地域の活性化、結びつける良いアイデアとその具体化が求められていると考えています。



巨大アサガオ その後・・・

8月発行号でお知らせしたように、今年の夏は交流センターで巨大アサガオが育ちました。登りつく竹は最も高い所で5m位あるのですが、そこからはみ出たつるが下に垂れていて、結局7m以上に成長したのではなかったのでしょうか。今月中旬になっても、まだ毎日少しずつ花を咲かせています。花の時期が終わっても、もうしばらくはこのままにしておいて種を採ろうと思っています。来年の5月頃には無料配布しますが、今のうちに入手しておきたいと希望される方は、アサガオが片付いた頃を見計らって交流センターにおいでください。



11月	地域行事・交流センター行事 などの予定
1日	作品展示会（3日まで）
2月	健康体操
3火	
4水	てんばこどもクラブ
5木	健康体操、カラオケサークル てんばこどもクラブ
6金	てんばこどもクラブ
7土	
8日	
9月	健康体操
10火	
11水	てんばこどもクラブ
12木	健康体操、てんばこどもクラブ
13金	てんばこどもクラブ
14土	
15日	
16月	健康体操
17火	
18水	クロリティ・スカットボール てんばこどもクラブ
19木	健康体操、カラオケサークル てんばこどもクラブ
20金	人権同和教育講演会
21土	
22日	
23月	
24火	
25水	てんばこどもクラブ
26木	健康体操、てんばこどもクラブ
27金	てんばこどもクラブ
28土	
29日	
30月	健康体操

（予定は変更になることもあります）

【編集後記】

市長選挙が終わり新しい市長が決まりました。新しい市長さんには、中山間地域の厳しい状況を打破する政策を期待したいものです。

鹿児島県の過疎の集落『柳谷（通称：やねだん）』を再生させた地域づくりのカリスマリーダー豊重哲郎さんは「行政にたよらない地域づくり」をキーワードにされている一方「行政は永遠のパートナー」ともおっしゃっています。行政でしかできないことがあるのは当然ですが、豊重さんの言葉は、すべてのことを行政頼みにせず、自分たちでできることは自分たちでやるという気運がないと地域づくりは進まない、という意味ではないでしょうか？